銀賞　堀内　敬太君

北海学園大学工学部建築学科　　ともに紡ぐもの

夕張の炭鉱住宅を舞台とした介護施設の提案。プレゼンテーションが淡白であり作品性としては地味な作品であるが、介護のあり方、炭鉱住宅の再生など、社会性のある問題意識に立ち魅力的な空間を提案している。炭鉱住宅群の住棟間を内部化し介護施設、食堂、学習の場、図書室など様々な機能を挿入し新たな人のつながりを生み出す発信型の介護施設である。コミュニティの崩壊から環境問題まで多くの問題に対する具体的な回答を現実的でやさしさのある空間でまとめている力量が評価に値した。

（文責：菅原　秀見）